

学校評価報告書

学校教育目標

「自己理解」「自己選択」「自己決定」

めざす児童生徒像

- | | |
|---------------------------|--------|
| ・自分を大切に、友だちを大切にする児童生徒 | 〈自己理解〉 |
| ・自分の好きなこと、得意なことを大切にする児童生徒 | 〈自己選択〉 |
| ・自分の未来を大切にする児童生徒 | 〈自己決定〉 |

学校経営方針

めざす児童生徒の姿 ～自分を大切に、人を大切に、自分らしく生きる～

- ・児童生徒の思いを聞き、それぞれの思いを認めながら、児童生徒と一緒に考える、一人ひとりを尊重する学校
- ・児童生徒が認められて安心して過ごすことで、主体的に関わり合う力をはぐくみ、お互いに助け合う学校
- ・児童生徒一人ひとりの、自分らしい自立と社会参加を目指す学校

めざす学校の姿

- ・児童生徒が現在においても、将来においても安心して地域生活を送れるよう、地域に必要とされる地域に発信できる学校
- ・開かれた教育課程・教育活動、保護者・地域に開かれた風土、地域に発信する行事

めざす教員の姿

- ・特別支援教育のセンター校として教職員が自ら研修し、専門性を高め、各自それぞれの分野において児童生徒、地域、学校運営に「最大のサービス」を提供できる学校
- ・学校教育目標及び学校経営方針の下、学部長（分室長）、学年主任、クラスチーフが要となり、チームが相互理解して教育活動に当たる学校

今年度の重点取り組み項目

- (1) 人権尊重教育を教育の基盤とし、主体者である児童生徒一人ひとりの「願い」を実現させる教育活動に取り組む
 - ・「自立活動」について知識と理解を深め、全ての教育活動の基盤として教育計画の立案と実践を行う
 - ・適切な実態把握のため、アセスメントに関する知識・理解を深める
 - ・ホームルーム、授業、ケース会議等で校内相談支援部、教育部門チーフを積極的に活用しチーム力を高める
- (2) 新学習指導要領の導入において「小学部」～「中学部」～「高等部」と繋がりを意識した教育課程編成を進める
 - ・「キャリア教育」：一人ひとりのライフステージに応じた進路指導・支援を充実させる
 - ・「個別の教育支援計画」：本人、保護者との共通理解を大切にした教育を行う
 - ・教職員に対し、計画的に他学部や他校の教育実践、福祉施設等を視察、体験する場面を設定する
- (3) 授業力向上を目指した授業研究の継続
 - ・児童生徒が「楽しい」「できた」「わかった」と実感できる授業
 - ・GIGA 端末を活用した取り組み
 - ・地域に発信する、地域に繋いでいく教育活動（家庭・福祉施設・企業等）
- (4) 「安全教育」児童生徒の安全や健康に配慮し、生命を大切にした教育を行う

評価計画

- (1) 自己評価（学校）
 - ・学校教育目標・教育方針に基づいた教育計画の設定（PLAN）
 - ・教育活動の展開（DO）
 - ・保護者へのアンケートの実施・分析（CHECK）
 - ・教育活動の見直しと改善、次年度の計画と目標の設定（ACTION）
- (2) 学校関係者評価
 - ・学校教育推進会議による評価（コロナウィルス感染症の影響の為、書面開催）

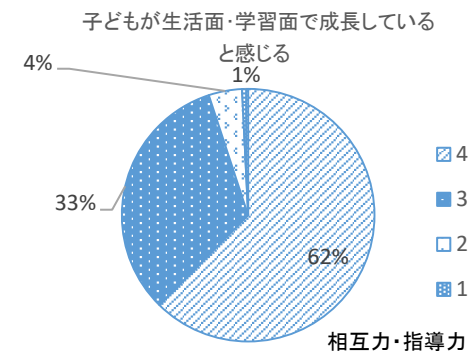
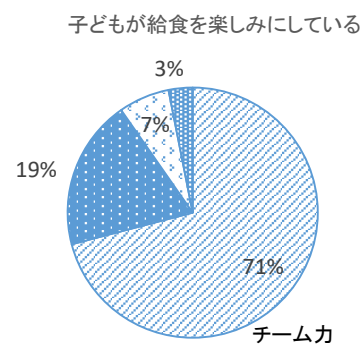
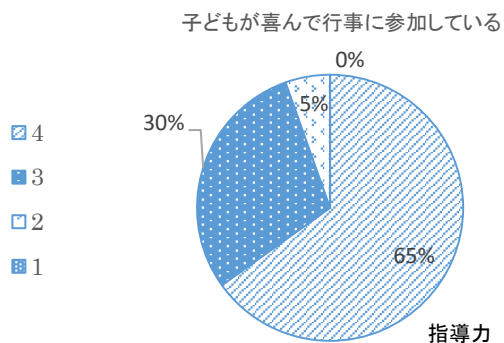
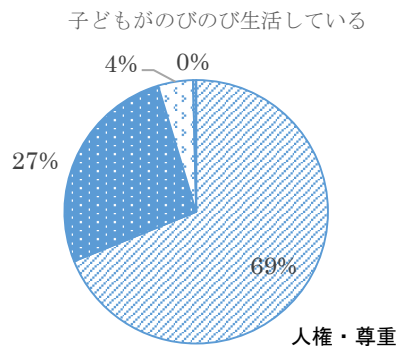
令和4年3月

学校評価

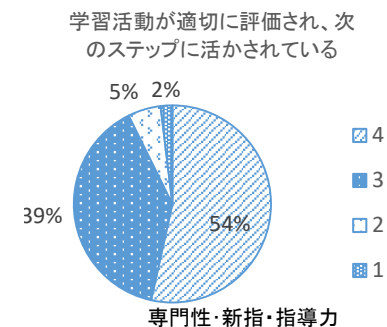
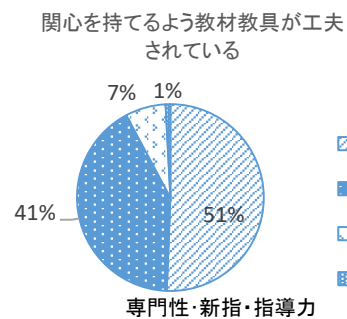
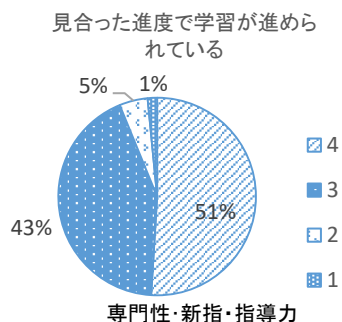
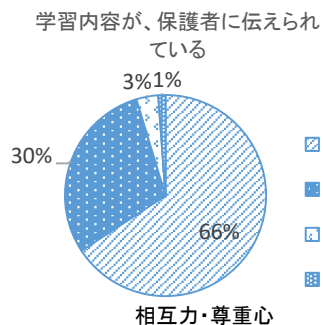
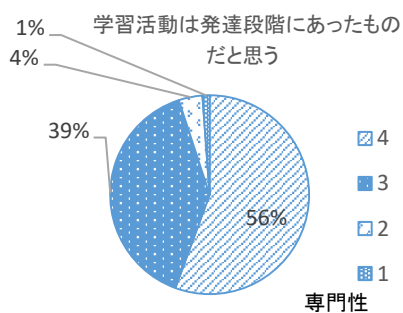
(アンケート：大戸分教室、稲田分教室、中学部、高等部、高等部分教室の保護者)

I、学校生活について (保護者アンケート)

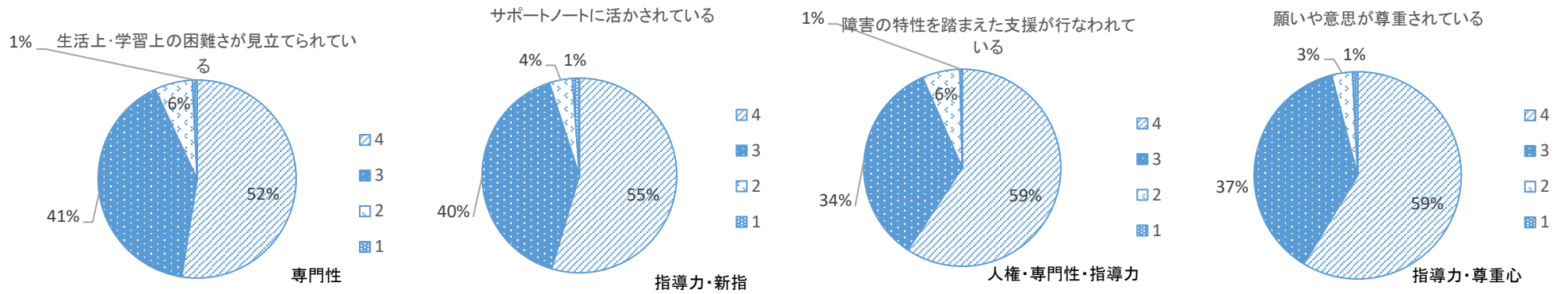
4、そう思う 3、どちらかといえばそう思う 2、あまりそう思わない 1、まったくそう思わない



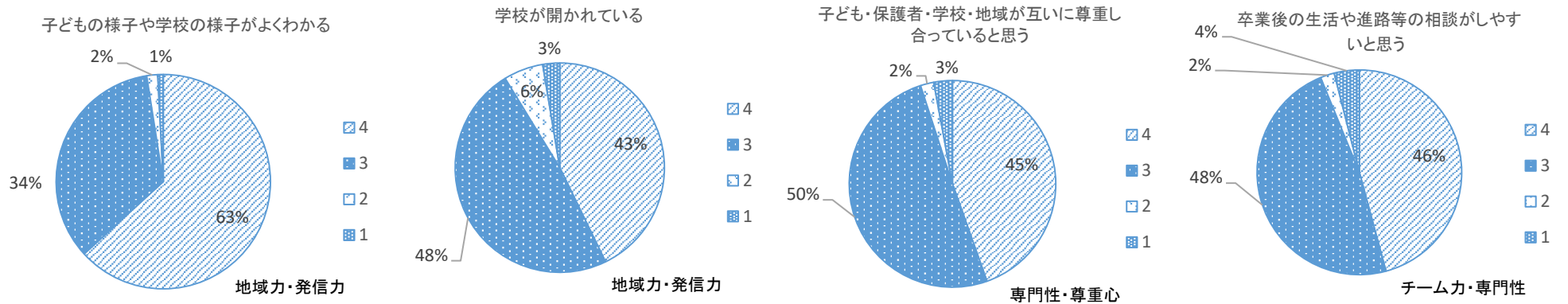
II、学習活動について (保護者アンケート)



Ⅲ、児童・生徒理解について（保護者アンケート）



Ⅳ、地域・保護者との連携について（保護者アンケート）



分析と評価

I、学校生活について

保護者におけるアンケートにおいては、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせると4項目共に90パーセント以上の解答を得ている。「子どもがのびのび生活している」や「喜んで行事に参加している」「給食が楽しみ」などをご家庭で判断する材料として子どもの様子からと解答されているご家庭が多かった一方、コロナ禍ということもあり「学校の様子がわかりづらい。」「子どもが学校の様子を伝えられないので」というご意見も見られた。子どもが「楽しそうに学校へ行っている」という〈自己選択〉の思いをしっかりと受け止め、より児童生徒の主体的に関わり合う力を育むとともに、より生活面・学習面で成長していると感じられるよう情報共有して必要性も感じた。

II、学習活動について

学習活動についてもご家庭での判断材料としては、「連絡帳」、「電話連絡」「個別の指導計画」等、学校からの情報提供に頼るものが多く見られた。また、子どもの成長を日に日に感じることで、「学習内容が発達段階にあっている」「見合った進度で学習が進められている」「次のステップに活かされている」と感じるとの回答も見られた。一方、「友だちとの関りが分からない」「子ども自身の学習活動の様子が見えない」等、ご家庭との情報共有不足と思われる回答も見られた。コロナ禍とはいえ、授業参観や学校公開日等の実施、日常の様子の伝え方を含めて情報共有の方法の工夫が求められていると感じた。

III、児童・生徒理解について

「生活上・学習上の困難さが見立てられている」や「サポートノートに活かされている」「障がいの特性を踏まえた支援が行われている」「願いや意思が尊重されている」という発問は教師側の見立てによるところが大きい。面談等で共有（本人・保護者のご意見の反映）されるが、教師側の自立活動や児童生徒の実態把握（アセスメント）による目標設定がたたき台となる。ご意見の中には、面談の時だけで「個別の指導計画」の共有は難しい。事前に家庭で「実態把握」や「目標」に十分に目を通し、意見（願い）を準備したいというご意見が見られた。自立活動シートの活用方法も含めて、学びの主体者は生徒であり、その願いを実現させるためのものなので、その共有方法のあり方は再検討が必要なかもしれない。

IV、地域・保護者との連携について

今回のアンケートにおいては、最も難しさを示した項目である。コロナ禍で学校・ご家庭・地域が連携する困難さは想像される場所ではあるが、その中においても工夫が求められる場所である。ご家庭にとって学校の様子を知る方法としては、IIの項目にある通りである。「連絡帳」や「電話連絡」により、子どもの様子が「よくわかる」と回答いただいた方も多かった一方、「連絡帳」の伝え方等、教員側の工夫不足によるものと思えるものも見られた。地域との連携では、この状況での難しさは否めない。また、小学部では、進路に向けた不安もあり、中学部、高等部の様子を知りたいというご意見もいただいた。

今年度の重点取り組み項目について

学校教育目標・学校経営方針にある、「自分を、友だちを大切に・・・一人ひとりを尊重する学校」として〈自己理解〉を深め、児童生徒の主体的な活動〈自己選択〉の中から、自分らしい自立と社会参加〈自己決定〉ができるよう「人権尊重教育」を軸として取り組んできたところである。

学校長を中心に各校務分掌を機能させ、特別支援教育の根幹でもある「自立活動」の充実（自立活動シートの活用）と適切な実態把握のための「アセスメント」の見直し、高等部分教室では次年度に向けて新たに[ASA 旭出式社会適応スキル検査]の導入等、児童生徒の実態把握に取り組んできた。教育相談では、校内ケース会や地域事業所との連携を含め、児童生徒指導上の問題解決に取り組んだ。また、新たに「GIGA スクール」を設け、ICT 機器等の端末を活用した取り組みについて推進を図っている。研究推進においては、「学習指導部」と連携し、「学習段階表」を含めたシラバスづくりに取り組み、小学部、高等部分教室においても「児童生徒の主体的な取り組み」を推進する授業づくりを深めている。また、教職員に対して学部間の情報共有の一環として、他学部へ参観する場面を設定、高等部分教室では、グループホームへの視察を行った。

一方、「小学部」～「中学部」～「高等部」と繋がりを意識した、という部分においては、教育課程上の見直しは図ったものの、ライフステージに応じた進路指導・支援の充実とも関連するが、特に「小学部」「中学部」段階において、将来的な見通しが持てずに不安を感じているとのご意見が見られた。「キャリア教育」を含めた児童生徒・保護者への情報共有のあり方について工夫の必要性を感じる。

学校関係者評価

年3回（6月、10月、2月）の学校教育推進会議（地域代表、保護者代表、生徒代表、教職員代表による）

6月・・・学校運営計画の説明、学校教育目標、教育方針、重点取り組み項目の説明

10月・・・教育活動の状況説明、生徒会生徒（本校、分教室）との意見交換、学校評価アンケート実施説明

2月・・・学校評価アンケートに基づく評価

予定していた、年3回の「学校教育推進会議」は、コロナ禍の為、いずれも書面開催とさせていただきました。

* 「学校教育推進会議」としては、行えませんでした。が、「学校評価アンケート」については、PTA 本部役員と情報共有させていただきました。